

インタープリテーション のすすめ

岐阜県立森林文化アカデミー

小林 毅

インタープリテーションという言葉をご存じですか? 英語としては、もともと「言葉の通訳」や「物事の解釈」、「解釈して表現する」というような意味がありましたが、アメリカの国立公園では、公園のメッセージを伝える教育的な活動(手法)をさす言葉として、1920年頃から使われ出し、50年代半ばからその考え方や手法が確立されてきました。日本では1980年代に自然公園のビジターセンターや環境教育の実践の場で使われ出しましたが、その意味やニュアンスを表現するいい日本語が見あたらず、そのまま「インタープリテーション」(人を指すときは「インタープリター」という言葉が使われています。あえて言うなら「解説」ですが、意味としては、「解釈を伝える」、ということになります。もう少し丁寧に説明すると、「見たりさわったりできるもの(実体のあるもの)を使って、さわれないもの(概念や意味、価値など抽象的なこと)を伝えること」となります。言葉の通訳でいえば、直訳ではなく、意識に近いでしょう。さて、ここでは言葉の定義よりも、インタープリテーションの特性についてご説明しましょう。つまり、インタープリテーションをインタープリテーションするわけですね。

1. インタープリテーションは伝えたいことを効果的に伝える技術である

インタープリテーションでは、一方的に「伝える」のではなく、聞き手にきちんと「伝わる」ということを意識します。そのために一番大切なのは、インタープリターの説明する内容が、聞き手の興味や関心のあることかどうか、面白いかどうか、聞き手の経験や知識に関連しているかどうか、などに最大限に配慮することです。インタープリテーションをする際には、メッセージ(伝えたいこと)、素材、伝え方(体験)のどれかを参加者に関連づけると、聞き手が耳を傾けてくれるようになります。

まずは、以上のようにして聞き手をひきつけること(「つかみ」といいます)が重要ですが、聞き手の関心が持続するようにすることも大切です。そのためには、トークの内容や体験が理解やすく構成されていなければなりません。ねらいを達成可能なレベルで具体的に設定すること、導入・本体・ふりかえり/わかちあい・まとめ、といった体験から学ぶ流れになっていること、さらに全体にストーリー性があることや、内容・活動的にも静(考える活動)と動(動きがある活動)のようなメリハリをもたせることを意識するとよいでしょう。以上を体系的に学ぶためには、聞き手がどのように認知をしていくか、ということ扱うコミュニケーション心理学(認知心理学)といった分野もあります。

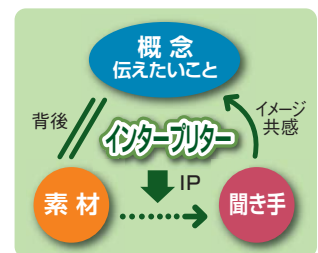
2. インタープリテーションは、単なる情報伝達ではない

インタープリター、というと、自然や文化などに詳しくて、いろいろと教えてくれる人、というイメージがあるかもしれませんが、私たちは、解説が単なる情報の説明に終わ

らないように気をつけています。図1の線の下の言葉は、具体的な素材=目に見えるもの、さわれるもので、線の上は抽象的な概念=目に見えないもの、さわれないもの、ととらえることができます。インタープリテーションでは、線の上にあるような意味や価値を聞き手に理解してもらうことがねらいになりますが、それらは一方的に説明しても解りにくいものなので、具体的に認識しやすい線の下のような素材を用いて聞き手にイメージしてもらったり、共感を促していったりすることになります。(図2)

生態系 歴史 心…
シカ コナラ ウグイス…

▲図1 どちらが伝えたいこと?



▲図2 インタープリテーションのイメージ

3. インタープリテーションはさまざまな場で活用できる技術

インタープリテーションは自然公園で始まり、自然体験の場で広がっていきました。現在では博物館や美術館や科学館の展示解説、動物園やエコツアー、地域活性などの場でメッセージを伝える技術として活用されています。「伝えたいこと」と聞き手を「つなぐ」役割を効果的にする方法としてとらえれば、コミュニケーション技術として共通点が多いからでしょう。バスガイドさんが行っているガイドも、単なる説明に終わればインストラクションですが、素材の裏にある意味を伝えようとすれば、それはインタープリテーションになるのです。インタープリテーションは、いわばアウトプットの技術ともいえますが、素材の情報を得るインプットも大切です。インプットした情報を、自分の感性で咀嚼し、聞き手に理解できる方法・言葉でアウトプットする、という作業がインタープリテーションだ、ともいえるでしょう。現在おかれている森林の現状を伝えたり、新しい価値を伝えたり、森林と人々をつなぐ活動の際にインタープリテーションの技術が有効となるはずですよ。

岐阜県立森林文化アカデミーでは、インプットからアウトプットまで学べる国内でも稀有な存在です。皆さんもどうぞ学びに(遊びに)おいでください。



▲アカデミーでのインタープリテーション実習の様子